

出資団体等所有施設に係る運営評価等調書

施設名 (団体名)	大洗駅ほか13駅 (鹿島臨海鉄道株式会社)	所管課	政策企画部交通政策課
--------------	--------------------------	-----	------------

1 施設概要

所在地	水戸市、大洗町、銚田市、鹿嶋市	整備年月	昭和60年3月
設置の根拠法令等	昭和59年6月、茨城県知事と国鉄総裁との間で「鹿島新線の開業に関する協定」を締結		
設置目的	日本鉄道建設公団が建設していた国鉄鹿島線（水戸駅～北鹿島駅間）を、国鉄（現JR東日本）に代わって鹿島臨海鉄道（株）が経営することになり、昭和60年3月から、大洗鹿島線として旅客営業を開始。		
事業内容	旅客事業		
施設内容	敷地面積：642,288㎡ 主な建物の構造、延床面積：大洗駅（鉄骨造）296㎡ ほか		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	直営	管理者名	篠部 武嗣（代表取締役社長）
体制	60人	内訳	常勤職員 60人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	2,137,000	2,129,000	2,135,000	1,915,000	2,043,000
	実績	2,112,378	2,050,486	1,497,698	1,571,412	1,720,504

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	旅客収入	629,868	605,206	419,854	449,187	506,669
	その他	175,803	164,847	121,417	113,135	116,462
	合計①	805,671	770,053	541,271	562,322	623,131
支出	人件費	487,728	458,283	426,455	418,094	438,344
	維持管理費	102,095	95,675	81,174	74,808	90,687
	その他	312,226	293,873	240,868	237,981	245,890
	合計②	902,049	847,831	748,497	730,883	774,921
収支 (①-②)		△ 96,378	△ 77,778	△ 207,226	△ 168,561	△ 151,790

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	184,606	166,591	173,466	0	33,332

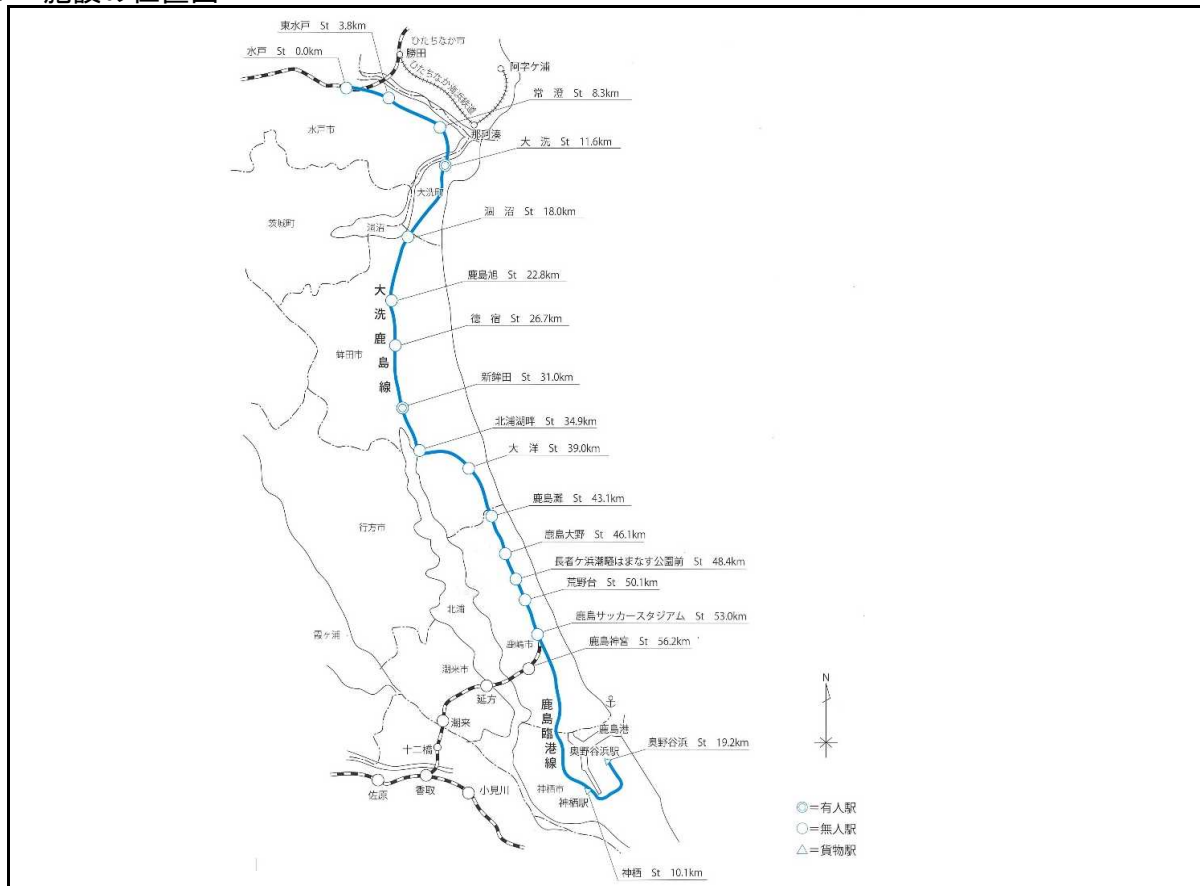
※10,000千円以上の修繕費

5 運営上の課題と対応

課題	対応
○旅客事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、旅客輸送量が低水準にとどまったことから、営業収支は赤字を計上している。今後、経営状況が厳しさを増していることから、黒字転換に向けて一層取り組む必要がある。	○経営評価等において「課題がある」とされる団体になっていることから、既に作成している改革工程表による収支の改善に取り組み、持続的な経営に努める。
○沿線人口の減少や新型コロナウイルス感染症等による影響が今後も続くと考えられることから、貸切列車の運行等のPRや茨城デスティネーションキャンペーン等への参画とともに、引き続き「大洗鹿島線を育てる沿線市町会議」との連携等により、沿線住民等の利用促進に努め、収支改善に取り組む。	○「大洗鹿島線を育てる沿線市町会議」などとの連携による利用促進策を展開するとともに、鹿島アントラーズのホームゲーム開催日において、コンビナート企業などと連携し、神栖駅からパーク&ライドによるサッカー応援団体専用臨時列車の運行を行い、貸切列車収入を確保する。
○引き続き安全な運行を堅持するため、運転士の人材育成並びに鉄道施設の維持管理及び更新を計画的に実施すること。	○鉄道施設の維持管理については、国、県等からの補助金などを活用して計画的に取り組み、大洗鹿島線の安心・安全運行に努める。

※経営評価の結果等を参考に、課題を記載すること。

1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）

